



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第11号). 泌尿器科紀要 2003, 49(11): 708-708

ISSUE DATE:

2003-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/115069>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editorの責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

先日、卒後臨床研修のための研修医マッチングの結果が報告された。総参加者数は8,283人で、マッチングが決まったのは7,756人（マッチ率：95.6%）と発表されている。また、希望順位1位の研修プログラムにマッチした参加者は6,014名であり、マッチ者全体の約4分の3が希望どおりのプログラムに参加出来たということになる。

そのような中、全国の大学病院の人気は惨憺たるものであることがわかってきた。ほとんどの大学病院が定員割れであり、京都大学病院でも110人の定員のうちマッチング出来たのは60人程度であった。今臨床実習を回っている学生に聞くと、彼らも大学病院は専門医養成には良い環境だが初期の基礎研修には向いていないと思っているようだ。これからは多くの研修医が大学病院以外のところで初期研修をうけることになる。以前の編集後記にも書いたが、研修医としての最初の1～2年は生涯にわたる医師としての基本的なスタンスを確立させる重要な時期であり、指導医の情熱が不可欠である。指導医への手当も出さないようなシステムには強い不安を感じるが、是非、良い方向へ向いていってほしいと思う。

それにしてもマッチング出来なかった353人はどうなるのだろうか。彼らの研修先と、彼らがどんな医学生の集団なのか非常に興味がある。誰か調査してくれないだろうか。

（小川 修）

泌尿器科紀要 第49巻 第11号 2003年11月25日 印刷 2003年11月30日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
